

KSN 通信 VOL.59

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。
 今年の桜のシーズンは、平年よりも少し遅かった昨年とは打って変わって、全体的に早くなっているようですね。九州や関東の南側では、お彼岸を過ぎた頃にはすでに満開となっているところもあって、びっくりしましたが、満開になるとすぐに散ってしまうので、この時期はとくに雨が降らないでほしいと思っております。



■ KSN ニュース

■ 堺第 7-3 区で「第 10 回共生の森植樹祭」が開催されました

去る 3 月 2・3 日、堺第 7-3 区にて「共生の森」づくりのための植樹祭が開催されました。

今回で 10 回目となるこの森づくり活動の記念植樹に、両日合わせて約 700 人の方々に参加されました。当日は、弊社従業員も参加して、微力ながらお手伝いをさせて頂きました。ご家族で参加される方々も増え、皆さま和気あいあいと、楽しみながら植樹作業に励んでおられました。



ブロック別に担当を分けて、数種類の木をサークル状に植樹していきます。



植樹祭終了後、ご参加された方々の集合写真を撮影している様子です。

■ エコニュース

■ 「CFPを活用したカーボン・オフセット製品」って？

「カーボンフットプリント（CFP）を活用したカーボン・オフセット製品」をご存知でしょうか？
 経済産業省は、環境省、農林水産省、国土交通省と連携し、算定された CFP と同量のクレジットでオフセットすることで、製品のライフサイクルでの排出量をゼロとする「カーボンフットプリントを活用したカーボン・オフセット製品」の試行事業を開始されたそうです。

消費者に購入製品の環境への負荷を“見える化”することに加え、「企業が CFP 算出過程で排出量のムダを見つける効果が期待できる」とされていた CFP ですが、直接的に排出量削減に結びつかないなどの懸念材料もありました。しかし、企業が環境コンサルティング会社などを通じて排出権を購入し、その資金を省エネ設備導入などに充てる「カーボン・オフセット」の仕組みと統合することにより、CFP で算出した排出量を、排出権で相殺することでゼロにした製品の認証とラベル表示を可能にしたそうです。今後も、こういった制度を利用した環境にやさしい製品が増えてくることを期待したいですね。

※CFP（カーボンフットプリント）とは、Carbon Footprint of Products の略称で、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO2 に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みです。

■ 3 月受入量割合

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 一般廃棄物 | 49.5% | 産業廃棄物 | 50.5% | (H25.3.1～28 まで) |
|-------|-------|-------|-------|-----------------|

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク
 〒592-8331
 大阪府堺市西区築港新町 4 丁 2 番 5

TEL：072-320-9001（代表）
 FAX：072-320-9004